

沖縄の「明日の旅」をデザインするプロジェクト

OKINAWAアスノタビPT

<p>プロジェクトチームの目的</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・観光を推進することで懸念される環境（自然、文化、暮らし）への悪影響を防ぎ、持続可能な観光の在り方（エシカルトラベル）の発信を通じて、沖縄の豊かな自然と文化を未来に継承していく ・沖縄を訪れる観光客や、受け入れる地域、観光事業者に、新しい旅のスタイル（エシカルトラベル）の情報提供や、体験機会を創出する 		
<p>解決したい課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・観光を推進することによって懸念される環境（自然、文化、暮らし）への悪影響（いわゆるオーバーツーリズム問題） ・観光業に携わる若手人材の不足 		
<p>関連するゴール</p>		<p>活動期間</p>	<p>令和6年4月～令和7年3月</p>
<p>おきなわSDGsアクションプランとの関係性</p>	<p>優先課題④</p>	<p>④-1</p>	<p>魅力的な観光産業の展開と生物多様性の両立により、世界に誇る持続可能な観光地（サステナブル・ツーリズム等）の形成を実現する。</p>

1年間の活動概要

1年間の活動成果

・活動計画書において記載していた3つの活動を行うために、名桜大学の遠矢准教授と2回打合せを実施。その中で、現プロジェクト計画だと、学生からの協力を仰ぐのが厳しいと指摘をいただいたため、学生を巻き込んだ本プロジェクトの実施は断念した。

・一方で、弊団体としては、大宜味村観光協会と連携したエシカルトラベルの先進事例の調査研究、Us4IRIOMOTEの活動を通じたエシカルトラベルの情報発信について実施した。

・名桜大学の遠矢准教授と2回打合せを実施

・平南川ター滝における持続可能な観光情報発信プロジェクト



今後の展望

・もともと計画していたプロジェクト自体は未遂に終わったが、大学側のニーズが確認できたため、その実態に基づいたプロジェクトの計画を行っていきたい

・具体的な地域におけるエシカルトラベルの事例研究ができたため、その成果をもとに、次回以降は別地域でもエシカルトラベルを普及させる取り組みを予定している